

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度第2回上越市地域公共交通活性化協議会

## 2 議題

### (1) 協議事項

議案第1号 第2次上越市総合公共交通計画に基づく令和4年度バス路線（市営バス）の評価について

議案第2号 自家用有償旅客運送の更新登録について

議案第3号 協議運賃路線における特別運賃の設定について

議案第4号 バス路線の経路変更について

議案第5号 第2次上越市総合公共交通計画（後期再編計画）の策定について

## 3 開催日時

令和5年7月13日（木） 午後1時30分から3時15分まで

## 4 開催場所

市役所 木田第一庁舎 4階 401会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した人

委員：野上伊織、桑原信之、藤山育郎（代理：荻原一浩）、白石雅孝（代理：田村治）、牧野章一（代理：本間よし子）、渡邊正芳、折橋一禎、斎藤龍夫（代理：水野隆）、大島常寛（代理：長谷川謙）、久須美賀通（代理：小林和則）、上原みゆき、小山修、土屋美暉子、山田一輝、鴻江孝雄（代理：佐藤義明）、佐藤利夫、志村喬、岡田雅美、増田連治、保坂哲、綿貫寿造、横野潔

事務局：池田課長、木南副課長、藤井係長、大熊主任、野沢主任、上野主事（交通政策課）

## 8 内容

### 1 開会

（事務局） （開会のあいさつ）

### 2 会長あいさつ

(野上会長) 委員の皆様におかれましては、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたところではありますが、感染者が増加しているとの報道もあり、このような中、いよいよ夏休みを迎えることとなります。

昨年に続き、今年も行動制限の無い夏となりますが、交通事業者の皆様におかれましては、感染拡大防止にご留意いただければと存じます。本日お集まりの委員各位におかれましても、感染しないよう十分気を付けてくださいますようお願いいたします。

また、交通事業者の皆様におかれましては、この夏休み期間において様々な取組を予定されていると伺っております。詳細については後ほど各事業者からご紹介いただきますが、コロナ禍で落ち込んだ利用者数の回復に向け、鋭意取り組んでいただき感謝申し上げます。

一方、エネルギー価格の高騰についてであります。国の燃料油価格激変緩和補助金が6月から段階的に引き下げられるなど、公共交通を取り巻く環境は、依然厳しい状況にあると認識しております。このような中、市では市議会6月定例会において、中小企業者等を対象に「エネルギー価格高騰支援金」を支給することとし、補正予算措置をいたしました。担当課からは今月下旬には申請受付を開始すると聞いておりますので、ご活用いただければと思います。

さて、本日の協議会では、協議事項5件を提案しております。前回の協議会に引き続き、第2次上越市総合公共交通計画の後期再編計画の策定についてご審議いただくこととしております。委員の皆様におかれましては、それぞれの立場から忌憚のない意見や提案を寄せていただきますようお願い申し上げます。本日はよろしくようお願いいたします。

(事務局) 続きまして、会議の成立についてでございます。

本日、お手元に配布させていただきました委員名簿をご覧ください。

委員数24名に対しまして、出席委員数は代理出席による議決権のある方を含めまして22名です。よって、会則第8条第2項の規定による半数を超えておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、これから議案審議に移りますが、議長は会則第8条第1項の規定により、野上会長から務めていただきます。

(野上会長) しばらくの間、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

初めに、協議事項についてであります。

### 3 協議事項

(野上会長) 次第の「3 協議事項」議案第1号「第2次上越市総合公共交通計画に基づく令和4年度バス路線（市営バス）の評価について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) (会議資料に基づき、議案第1号を説明)

(野上会長) ありがとうございました。  
それでは今ほど説明のありました議案第1号について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(発言なし)

(野上会長) 特に無いようですので、議案第1号については、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議無いものと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり承認されました。

(野上会長) 続きまして、議案第2号「自家用有償旅客運送の更新登録について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) (会議資料に基づき、議案第2号を説明)

(野上会長) それでは、今ほど説明のありました議案第2号について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いします。

(渡邊委員) NPO 法人三和区振興会の渡邊です。今回、6区の更新申請になっております。安塚区のコミュニティバスが入っていないようですが、どうしてか教えてください。

(事務局) 自家用有償旅客運送の更新登録の対象になっているのは市営バスであり、安塚区の予約型コミュニティバスは市営バスではなく、事業者が運行している乗合タクシーであるため、こちらには入っていないという事になります。

(渡邊委員) もう一点よろしいでしょうか。大池線が輸送人員の割に収入が少ないのは、小学生が無料という理由からでしょうか。

(事務局) そのとおりです。特に大池線は一般の方の利用よりも小中学生の利用がほとんどであり、小中学生は通学で利用する際は、無料で乗ることが出来ますので、そういった形になっております。

(野上会長) 他にはいかがでしょうか。  
特に無いようですので、議案第2号については、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議無いものと認めます。よって、議案第2号は原案のとおり承認されました。

(野上会長) 続きまして、議案第3号「協議運賃路線における特別運賃の設定について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) (会議資料に基づき、議案第3号を説明)

(野上会長) それでは、今ほど説明のありました議案第3号について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いします。

(発言なし)

(野上会長) 特に無いようですので、議案第3号については原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議無いものと認めます。よって、議案第3号は原案のとおり承認されました。

(野上会長) 続きまして、議案第4号「バス路線の経路変更について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) (会議資料に基づき、議案第4号を説明)

(野上会長) それでは、今ほど説明のありました議案第4号について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いします。

(発言なし)

(野上会長) 特に無いようですので、議案第4号については、原案のとおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議無いものと認めます。よって、議案第4号は原案のとおり承認されました。

(野上会長) 続きまして、議案第5号「第2次上越市総合公共交通計画（後期再編計画）の策定について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) (会議資料に基づき、議案第5号を説明)

(野上会長) 今ほど説明のありました議案第5号について、委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。まずこちらからお聞きしたい点として、資料4-2の9ページにある「公共交通に対する市民ニーズ」について、市で進めているバス利用者への聞き取りなどを通じて最近の状況を把握するという説明でした。本日お集まりの皆様からも、公共交通利用者の目線や、交通事業者の皆様の声など、それぞれの立場からご意見をお聞かせいただければと考えております。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

(意見なし)

(野上会長) それでは、市民の利用者の目線という点で、公募委員の方にご意見を伺いたいと思います。上原委員、いかがでしょうか。

(上原委員) 全体を熟読いたしまして、納得できると思いながらいろいろと勉強をさせていただきました。資料4-2の9ページについては無いですが、全体の中でよろしいでしょうか。

前回の協議会で白石委員がおっしゃっていたことが全くその通りだと感じていたのですが、市の財政負担について、資料4-2の29ページの現計画のところでは「バス運行に係る市の負担を4億円以内に抑制する」という目標を設定したとなっておりますが、改定案では「市の財政負担の増加を抑制する」となっていて、これは非常に良いと思います。30ページでは、基本方針2の一番下と①市の財政負担について、後期再編計画の策定後に目標が設定されるということで、今後具体的な数字が入るものと思いますが、4億円以内に抑制するという表現が負担の増加を抑制するという表現になったというのは良かったのではないかなと感じて

おります。以上です。

(事務局)      ありがとうございます。以前は 4 億円という一つの基準を設けておりましたが、市民の皆さんが安心して暮らしていくというところも考えながら、どうしたら公共交通を使っただけのものかを考えていく中で、経費が若干増えていくのもやむを得ないかなというところではあります。そういった点を考え、目標値を示したいと思っております。

(野上会長)      続きまして、小山委員いかがでしょうか。

(小山委員)      私は安塚区の朴ノ木という集落の出身です。集落の全体像が全部私の頭の中に入っている訳ではないですが、今もそこにお住まいの方がいらっしゃると思います。昭和 30 年頃は 67 戸、400 人くらいが住んでいて、小学校もありました。それが今では 10 戸で 16 人になりました。移住者を含めて 16 人です。先日、集落の側溝清掃がありました。集落だけでは困難ということで、応援の依頼がありました。私は大潟区に住んでおりますが、私以外にも浦川原や安塚、高田の地域の人たちも行って側溝清掃を実施しました。私の地区であれば人数も多く、汚れているところも少ないため 1 時間程度で終わります。朝 8 時からお昼まで行いましたが、終わりませんでした。

さて、私が子どもの頃は公共交通機関は無く、中学校までは歩いて通い、冬場は寄宿舎で生活をしていました。今そこにお住まいの人達は高齢になり足が痛いと言いつつも、病院や買い物に行っています。先日、安塚区に住む方に電話で聞いてみたところ、予約型コミュニティバスが非常に便利で、それを使い買い物、美容室にも行けると喜んでいました。また、ワクチン接種の際にも違う集落から乗り合せて、乗合タクシーのような形で行ってきたと、喜んでおられました。

資料にもありましたが、安塚区の朴ノ木だけではなく、10 年後、15 年後、全体として人口が大きく減っていくのが予測されるという状況の中で、地域の公共交通機関というのは欠くことのできないものではないかなと思います。これから検討していく内容で、予算上の問題などできない理由はたくさんあると思います。そこに住む人達を忘れないでいただきたいと思っております。以上です。

(事務局)      ありがとうございます。予約型コミュニティバスの利用状況について貴重な情報をいただき、大変助かります。地域の方がどういう風に使っていただいているかを考えながら再編をしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

(野上会長)      続きまして、土屋委員いかがでしょうか。

(土屋委員)

私は、市役所近くの山麓線に近いところに住んでいて、交通面については恵まれております。昨年度、視察乗車をさせてもらいました。乗車したのは正善寺線、名立線、東飛山線、直江津・浦川原線、安塚線、大平線、教育大学線、上越大通り線で、始発から終点まで乗車し、そこから折り返してまた始発地点に戻るというふうにして視察乗車をしました。

自宅近くには山麓線がありますが、山麓線の時刻表を見ると、自分にはバス時間が合わないことから、近くを通っているにもかかわらず、今まで利用したことがありません。直江津方面の中心地に行こうと思って直江津ショッピングセンターは10時にならないと開かないため、9時台のバスだと時間が合わず、上越妙高駅から直江津方面へ向かうバスがもう10分遅く運行してもらえればありがたいなと思いました。

また、上越大通り線を視察乗車をした際には、運転手さんが大変ご苦労されていると思いました。さらに、直江津から浦川原に行く際は、途中の集落に入ってお客を乗せ、また元の通りに戻るような運行をされていて、狭い道なので運転手さんは大変ご苦労されているなど、本当に感謝しながら乗車をさせていただきました。

上越妙高駅から高田方面へ向かうのにバスを利用しようと思って時刻表を見ると、1分違いでバスが先に発車してしまうというような時刻表になっていました。どの列車からも接続するという訳にはいかないと思いますが、その点も考えていただける余地があったらいいかなと思います。勉強不足な点があるかもしれないですが、ダイヤ改正の時に少しでも考えていただけたらありがたいと思いました。鉄道を下車してから駅近辺の集落へ行く方がいると思いますので、えちごトキめき鉄道やJRとバスの3つがうまく連携すれば利用できるのかなと思いました。バスの運転手さんもそこがうまくいかないと言っていたため、今後研究していただけたらありがたいと思います。

また、安塚線について、テレビや新聞などで10月には柳葉ひまわりが咲いているという報道がありますが、そういった時期には10日間程度でもいいので、安塚線を延長しての山の方へ向かうようにして、ひまわりを見に行けるようにできないものかと思いました。

最近見たリージョンプラザの停留所は、他のバス停と違った親切な表示がされていて、頸城自動車の電話番号や、運賃が書いてあって良い方法だなと思いました。

このほか、観桜会では会場で数日間ボランティアをされていて思ったのですが、タクシーを頼みたいという人がいました。1週間から10日間くらいの間、図書館の横に1台でも待機出来るような方法はできないものではないでしょうか。人手不足ということもありますが、考えていただけたらいいなと感じました。

運転手さんはどの方も安全に気を付けて無事にお客を運んでくださって本当に感謝しております。ある時乗車した教育大学線の運転手さんはより丁寧で、お年寄りなど動作がゆっくりな人にとっては、こういう運転手さんなら安心して乗り降りできると思えました。例えば「発車いたします、次は〇〇です」や、「止まってから立ち上がってください」、「ありがとうございました」など、その都度案内をされていました。録音の音声も流れていますが、その路線は人通りも交通量も少なく心の余裕があって言われるのかもしれないし、その運転手さんの人柄かもしれない。交通量の多い道路ではそう思っているにもかかわらず言えないのだらうと思いますが、どの運転手さんもきちんと真面目に誠実に運転されておりました。上越大通り線を運転する運転手さんで、朝3時半に家を出て本社へ行くという事をおっしゃった方がおられたので、健康面も考えていただきたいなと痛切に感じました。

蛇足ですが、子どもの頃から頸城自動車と言わずマルケーと言っていて、「ケー」は頸城だと思いますが、マルはどういう意味でしょうか。実は、頸城っていう字が読めなくて、この字なんと読むのですかと、今まで聞かれた事がありました。

(野上会長) 田村委員、いかがでしょうか。

(田村委員) 頸城自動車の田村です。貴重なご意見ありがとうございました。最後に質問されたマルケーの「ケー」は頸城だと思いますが、昔からマルケーと呼ばれていたもので、おそらくマルにKのマークがあってそれをマルケーと呼んだものと思います。

(上原委員) 土屋委員がおっしゃっていたこととほとんど同じになりますが、私は運転免許証は数年前に返納し、外出は全て路線バスとえちごトキめき鉄道、ほくほく線で移動しております。本当に運転手の皆さんは安全運転で、乗客の安全のために気持ちを集中させて一生懸命運転しておられます。そして、鉄道でも学生さん一人一人にありがとうとか、おはようございますなど、本当に気持ちよく声を掛けたりしていて、会社の努力はもちろんですが、一人一人の運転手さんの努力はすごいということを感じております。今ほど、3時半に起きて始発に乗務している運転手さんの話が土屋委員からありましたが、本当に拘束時間が長いという話を聞きます。大変な中の仕事であって、先ほどの市の4億円という事に私が拘っているのは、運転する方が居なくなってしまうたら成り立たず、もっと路線の数も減ってしまうという、大変な事態になってしまうと思っています。運転手さんになりたいと思うような、やりがいがあって働き甲斐があって安心して自分自身の人生を運転手さんも送れるというような上越市になってほしいと感じます。半径1キロ以内に駅も停留所

も無いという方も多い中で、そういうところには予約型コミュニティバスなどにより面としてカバーするなど、人口減少は避けることができないため、何とかいろいろな方が力を合わせて、乗務に携わっている人たちの幸せも考えてあげられる上越市になってほしいと思います。

(野上会長) これら意見を受け事務局はいかがでしょうか。

(事務局) 大変貴重な意見をいただき、ありがとうございました。

最初にバスの接続等々のご意見をお聞かせいただきました。ダイヤを考える上では交通事業者と共により良くなるように改正をしております。ただ、全てには行き渡らないところがございますので、利用している方からたくさん意見を聞きながら、少しずつでも改善していきたいと思っております。そういった意見は大変参考になりますので、引き続きお寄せいただければと思います。

上原委員から運転手不足の話がありましたが、運転手になりたいという人がたくさん出てくるようにという点は、私たちもそこが課題になっていると感じています。現計画はその点が入っておりませんでした。大きな課題であるため、新たに項目を設け真剣に考える必要があると考えているところです。実際に、運転手がコロナに感染するとバスが出せなくなるということがあり、一部の路線が運行できなくなったこともありました。また、今後より良いバスの運行を考えていこうとしても、運転手が足りないからバスを走らせることができないということが起きたり、どこかの路線の運行を止めざるを得ないといったようなことが起きてしまう可能性があります。我々も課題意識を持ちながら、どういった対策をとれば運転手になってくれる方が増えるのかという点を、交通事業者と共に考えていきたいと思っております。国ではそういった支援制度が今年から始まっておりますので、どう対策をしていくべきか考えていきたいと思っております。

(野上会長) その他いかがでしょうか。

学生の通学の面からも意見を頂戴したいと思っておりますが、保坂委員いかがでしょうか。

(保坂委員) 高田北城高校校長の保坂です。まずは、本日までご出席いただいた北越急行株式会社様をはじめとした鉄道各社様、バス会社様、そしてタクシー会社様におかれましては、日頃から生徒の交通手段確保にご尽力いただき、本当にありがとうございます。地区の校長を代表し御礼申し上げます。昨年冬、かなり降雪の激しい時には間引き運転を余儀なくされていたと思っております。しかしながら、生徒の登校時間や下校時間に、かなり車両を確保されていたのではないかなと思っております。おかげさまで昨年度

の冬も大きな混乱もなく生徒が登下校できました。重ねて御礼申し上げます。

私立も含め上越市、妙高市、糸魚川市の高等学校のほか、特別支援学校や中等教育学校の17校の校長会の代表として出席をさせていただいております。本日午前地区の校長が集まる会があったことから、この会に出席するにあたり、事前に地区の校長に何か要望等ないでしょうかと聞いてきました。そこで出た意見について少し紹介をさせていただきます。要望やご意見等ありませんかと地区の校長に尋ねたため、本来であれば感謝の言葉が出てくるところ、要望となりますと耳の痛いものもあるかもしれませんが、ご容赦いただければと思います。

意見や要望はそれほど多くはなく、皆さん快適に利用できているものと思いますが、あえて学校名を出させていただくと、関根学園さんからは、バスの本数が少なくて早退しても帰るバスがないことがある、という意見がありました。また、雨や雪の時期は、高田駅行きのバスを利用する際、学校から近いバス停が本町三丁目で、そこで降りて歩いて学校に向かわなければならず、学校に行くのに非常に大変な思いをしている生徒が多いとのことで、学校近くに停留所があると本当に助かります、といった話がありました。このほか、高田北城高校は、朝は8時30分までに学校に入ることになっていますが、登校時間にちょうど良いバスが無いという意見がありました。また、帰りは部活動が終わった生徒が使えるよう、最終バスをもっと遅い時間にしてほしいという意見がありました。高田北城高校は、18時30分に部活動の生徒も完全下校となっておりますので、18時30分以降にバスを走らせてほしいという意見がありました。

その他、降雪期や交通状況によってバスが時間通りに来ないという意見がありましたが、これはある程度仕方がないと思っております。

以上、高等学校としてのお話をさせていただきました。

(事務局) ご意見ありがとうございます。バス運行時間については、調整ができる所とできないところがあると思います。ご希望を聞きながら事業者と協議していきたいと思っております。なお、夕方の運行については、運転手の勤務時間の問題や、どのあたりに乗客が多いのかという点を含めての話になっていくと思います。

(野上会長) 続いて、資料4-2の11ページに高齢者の運転免許証の記載があり、自主返納者数が減少している一方、事故件数全体に占める高齢者加害事故の割合が増加傾向にあります。この点について上越警察署の小林委員代理からお願いいたします。

(小林委員代理) 上越警察署の交通課長の小林と申します。

私からは、高齢者加害事故の発生状況についてご説明いたします。資料に記載のとおり、市内の交通事故の発生件数は減少しております。高齢者加害事故は減少しているものの、全事故に占める割合は高い状況です。6月末現在、高齢者事故は35件発生しております。これは全体の36.8%となっています。35件のうち、加害事故につきましては24件発生し、率にすると25.3%となります。ほとんどが自動車運転中に起きた事故で、その他は自転車が2件です。年代別では70歳から74歳が非常に多く、時間別では16時から20時が非常に多いです。また、曜日別では金曜日が多く、中には認知症の方もいる状況です。事故の原因は前方不注意や交差点での左右の安全不確認と、これらが最も多い事故原因となっています。これはあくまでも人身事故で、物損事故についての割合は更に高い状況です。一番多いのはスーパーやコンビニエンスストアで駐車時の後方確認不足で、全く見ないでバックして駐車中の車にぶつけるといふ、このケースの事故がほとんどです。こういった状況からも高齢者の交通事故防止は重要課題ですので、対策を講じているところで

65歳以上の高齢者の運転免許証の自主返納者数につきましては、資料に記載のとおりです。上越警察署では昨日までで84件の返納があります。上越警察署だけでなく、直江津駅前の免許センターでも返納ができますので、合わせるとその倍くらいは返納されていると思います。平成24年から令和元年まで返納数は非常に伸びておりましたが、令和元年から急に少なくなっています。何故自主返納者数が減少しているかという点、コロナの影響により外出を控えるようになった点が原因ではないかと思えます。これは新潟県全体でも言えることだと思います。また、上越市では令和元年からタクシーまたはバス利用券の交付といった、運転免許証自主返納支援事業が無くなったのも原因として大きいと思えます。その他として、免許センターが直江津駅前に移転したことも原因ではないかと思えます。上越警察署でも返納手続きができますが、免許センターに行かなければ返納できないという認識の方が非常に多く、また、返納する人は一人では行けません。返納すればそこから無免許になるため送ってもらうか、もしくは公共交通機関で行くしかありませんが、送ってもらう人が非常に多い中で、直江津駅前の免許センターは送る側からは行きづらい、駐車しづらいといった理由があると思われ

ただ、コロナが5類になり、わずかながら自主返納者数が増加しているという状況です。以上です。

(事務局) その他、全体を通してご意見やご質問はございませんでしょうか。

それでは、議案第5号については今ほど説明した内容を基に、引き続き策定に向け進めたいと思えます。

(事務局) 以上を持ちまして、予定していた議題の審議を終了いたします。

ここで、交通事業者の皆様から、夏のイベントや最近の利用状況等について情報提供をしていただきたいと思います。

初めに、北越急行株式会社の桑原委員お願いいたします。

(桑原委員) 北越急行の桑原と申します。日頃よりほくほく線の運営に関しましてご協力、ご支援を賜っておりますことを改めて御礼申し上げます。また、本日はご利用者の立場である委員の皆様から貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。現場で働いている運転手に伝えたいと思います。安全第一で運行しておりますが、一つだけ申し上げさせていただきますと、安全を最優先としているため、例えば大雨や大雪、強風が吹いたりすると、速度を落として運転したり、場合によっては運転中止になるほか、大雨の後は点検が必要になり非常に大きなダイヤの乱れが発生し、ご利用の皆様にご迷惑をおかけする場合がございますので、あらかじめご理解を賜りますようお願いいたします。

それでは、令和 4 年度の決算と輸送概況について、既に報道等もされておりますが、改めて簡単にご紹介させていただきます。令和 4 年度は大きな輸送障害もなく、コロナ禍で中止となっておりました沿線地域の大きなイベントが徐々に再開されたことに伴い、利用者数は増加いたしました。令和 4 年度の利用者数はトータルで約 91 万 7 千人となり、対前年度比で 113%となりました。ただ、コロナ前と比べ 78%であり、まだコロナ禍前の状況にはないという状態です。決算の状況について、利用者数は令和 3 年度より増加しましたが、燃料費や資材購入費等の高騰により経費が増大したため、昨年度より若干悪化した 5 億 2 千万円の赤字を計上しています。厳しい経営状況が続いていますが、7 月 4 日付で北陸信越運輸局に運賃改定の申請を行い、認可されれば 10 月 1 日から運賃改定を実施したいと考えております。定期券で 20%、通学定期は半分の 10%の値上げを予定しております。利用者の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、配布させていただいたパンフレットについてご説明させていただきます。こちらは、昨年度デビューいたしました大地の芸術祭の公式作品で「J I K U #013 ほくほくライン」と呼びます。臨時列車で芸術祭列車として運行し、それに乗っていただきほくほく線の唯一のトンネル駅的美佐島駅という作品を鑑賞していただくという形になっております。パンフレットにも記載がありますが、パノラマティクスの斎藤精一様が手掛けた作品となっております。2025 年の大阪・関西万博をプロデュースしており、そういった方々から制作に携わっていただいた作品です。作品の説明はパンフレットに記載されていますが、軸という事で、この作品では歴史の軸を表現するプロジェクトシリーズの中の 13 番

目の作品という事になり、1997年に開業したほくほく線が、新たな地域との繋がりにより、ほくほく線の線路や軌道を使って地点と地点を結ぶことで尊さやエネルギーを表現しているという作品です。ぜひ一度、ご覧いただきたいと思います。夏休み期間中は7月29日、30日、8月は11日、12日、13日、19日、20日と、1日4便運行しております。詳しくはホームページからお申込みいただければと思います。

以上です。

(野上会長)            ありがとうございました。

続いて、えちごトキめき鉄道株式会社の荻原委員代理お願いいたします。

(荻原委員代理)       えちごトキめき鉄道株式会社の荻原と申します。いろいろお話があった中で高齢者の免許返納という部分がありました。上越市が作成した公共交通で安心お得なお出かけという資料の中で、一番左上にじもパスが掲載されています。満70歳以上のシルバーの方や、免許を返納し運転経歴証明書をお持ちの方に対し、資料に記載の金額で切符の販売を行っております。2022年度までで、シルバーの方に7,700枚程度販売をさせていただいております。また、免許返納の方については300枚位販売をさせていただいた実績がございます。以上、先ほど少し話題になったため、ご紹介をさせていただきました。

改めて、日頃から弊社をご利用いただきまして、本当にありがとうございます。また、北越急行様からお話しがあったとおり、天候の具合等で運休となる事もあると思いますが、弊社も安全第一で運行しておりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

私から、最近の状況をご説明させていただきたいと思います。まず、令和5年の6月の旅客収入の速報値は、対前年同月比で103.4%となり、コロナ前の2019年の同月比では92.6%となっています。また、第一四半期の4月から6月まで、こちらは対前年比107.3%で、コロナ前の対2019年比では102.3%となっております。輸送人員は、これも6月の速報値になりますが、線区全体で対前年同月比98.3%であり、2019年度の同月比では85.9%となり、第一四半期の4月から6月までで対前年比で100%となり、コロナ前の2019年比で84.8%となっています。旅客収入につきましては、2020年4月に値上げをさせていただき、それに伴う増加や、昨年の10月からリゾート列車の雪月花の料金改定等も図られておりますので、収入の増加は図られておりますが、依然として輸送人員についてはコロナ前の状況には戻っていない状況です。また、インバウンドの関係では、雪月花は台湾の団体からもご乗車いただいております。

続いて、「今年の夏は直江津がアツい！」というチラシをお配りしました。上越市立水族博物館のうみがたりが今年5周年を迎え、6月24日

には地域の実行委員会においていろいろなイベントを開催し、弊社も担当させていただいたところ。うみがたりが5周年、直江津D51 レールパークは2周年ということで、コラボキャンペーンとして7月15日の土曜から10月1日までの間、先にどちらかの施設に行きチケットの半券を提示いただくと、施設の入場料を通常価格より100円割引いて販売をさせていただくというキャンペーンを実施いたします。夏休みにも入っておりますので、是非ご利用いただければと思います。

引き続き多くの皆様からご利用いただけるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(野上会長)            ありがとうございました。  
                          この他にも、委員の皆様から何かご発言等ありますでしょうか。

(発言なし)

(野上会長)            本日も「意見シート」をお配りしておりますので、議案の内容等で何かお気づきの点がございましたら、「意見シート」などを活用いただき、事務局へご連絡くださいますよう、お願いいたします。

それでは、全ての審議が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。慎重審議にご協力いただき、ありがとうございました。

#### 4 その他

(事務局)            ありがとうございました。

本日は後期再編計画の策定について多くの委員の皆様から貴重な意見をいただきました。引き続き計画策定を進めてまいります。いろいろな意見をいただき、それを計画に反映していきたいと考えておりますので、お気づきの点等ございましたら、会長から案内のあった意見シートを活用し、事務局にご連絡いただきますよう、お願いいたします。

続きまして、次第の「4 その他」に移ります。事務局から1点ご連絡があります。次回の協議会は8月下旬に開催したいと考えております。詳しい内容は書面にてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

#### 5 閉会

(事務局)            (閉会のあいさつ)

以上